

『春はあけぼの』

準備するもの 教科書 25ページ～27ページ

◎『秋』を読んでみよう。()があるところは、()のところを読もう！

秋は夕暮れ。

(チコ)

夕日のさして 山の端 いと近うなりたるに、 鳥の、 寝どころへ行くとて、

(エ)(ワ)

三つ四つ、 二つ三つなど 飛び急ぐさへ あはれなり。

(オ)

まいて、 雁などの つらねたるが、 いと小さく見ゆるは、 いとをかし。

ね

(ウ)

日入りはてて、 風の音、 虫の音など、 はたいふへきにあらず。

(1) 筆者は『秋』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読み、書きましよう。

◎『冬』を読んでみよう。()があるところは、()のところを読もう！

冬はつとめて

(ウ)

雪の降りたるは、 いふへきにあらず。 霜のいと白きも、 またさらでも、

も わた

いと寒きに、 火など急ぎおこして、 炭持て渡るも、 いとつきじき。

おけ

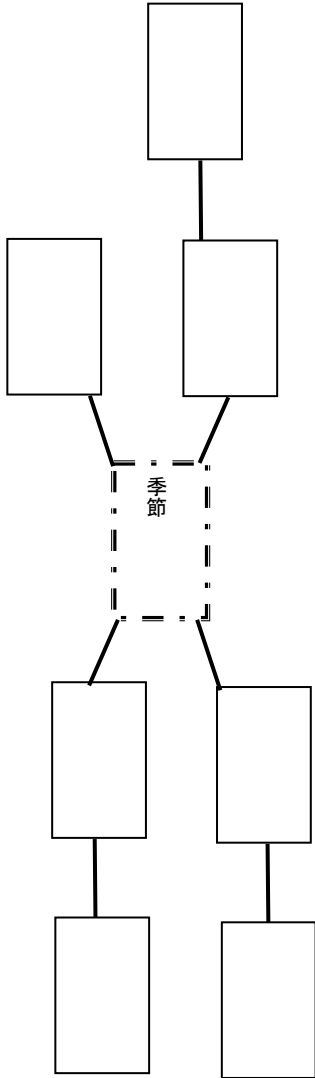
屋になりて、 ぬるく ゆるびもていけば、 火桶の火も、 白き灰がらになりて わろし。

(1) 筆者は『冬』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読み、書きましよう。

◎わたしの「枕草子」を書こう。

(1) まずは季節を決めよう。

(2) その季節から想像する言葉(言葉マップ)をたくさん書いてみよう。(教科書27ページを見よう。)



(3) 「言葉マップ」の中から選んだ言葉を使って、「私の枕草子」を作ろう。

書く時のポイント！

①「夏は○○」のような書き出しだと書きやすい！

②短い言葉で書いてみよう！

③昔の言葉(「をかし」など)を使ってみよう！

